

国語・算数のとりくみ

「ICTの活用」

山本 毅弘

対象児童

ぱれっとの一番星

「自分でやりたいことを思う存分やりたい」

「大人と同じように自分もやってみたい」

「みんなとたくさん遊びたい」

キャリア教育の視点

「かかわる」「くらす」「とりくむ」「はたらく」の
4つの視点より

- 「かかわる」 …自他の理解能力
- 「くらす」 …生きがい興味関心
- 「とりくむ」 …課題解決能力
- 「はたらく」 …選択能力

※・自分の好きなもの、好きなことをもち、自分の選んだ活動を楽しみ、目標達成のために必要な支援を要求することができる一助としてICTを活用することを考えた。

授業のねらい

・自分の選んだ好きな活動を夢中になって、長い時間でも継続することができる。最後までやり抜くことができる。2語文程の文字の学習を行う。

<導入の経緯>

・ipadそのものへの強い興味関心があったことを活用し、認知発達の凸凹も見られたため、幅広いアプリを活用することで、児童の実態に対応できるのではないかと考えICTを導入した。

授業の工夫

- 毎週2、3時間の国語・算数の時間にMTとしての担当は1時間のため特徴ある強い動機付けのあるわかりやすく楽しい授業作りを目指した。
- <授業環境の整備>正しい姿勢の保持。タブレット用ペンの活用。見やすさの確保のために書見台の活用など。
- 導入の時点で、利用に関しては学習と余暇としてのルール決めが必要。



児童の様子

- 初めは教員と一緒に、5分ほどで一つのアプリを終えていたが、一人でも一つのアプリの一連の活動※を最後まで行うという学習を継続することができた。

※積み木アプリ、ひらがななぞり書きアプリなど

卒業後に向けて

- 高等部入学と共に奨励費によるipadの購入や、将来の余暇活動やコミュニケーションツールの一つとしての利用が見込まれる。
- 自分ひとりのできることで、自立に向けて周りの人と協力する場面においてもツールの活用として幅が広がることで将来の生活へ役立てると考える。
- 自立を伴う、継続的な学習につなげる。